

青森工業高等学校の皆さんが現場見学会に訪れました



9月8日（木）、昨年に続き青森工業高等学校1年生（建築科35名、都市環境科35名）を対象に青森港について学ぶ現場見学会を行いました。

はじめに事務所内において、「みなと」の役割や重要性、国が行う港湾整備事業や青森港の事業概要について説明しました。

その後、港湾業務艇『つがる』に乗船し、海上から岸壁や防波堤などの港湾施設を見学しました。この日はあいにくの天候により波が高かったこともあり、防波堤の外側では船内が大きく揺れたものの、内側ではほとんど揺れないという防波堤の整備効果が非常に分かり易い見学会となりました。

総合学習会を終え、生徒たちからは  
「全国では他にどのような海域環境改善活動が行われているのか。」  
「港外側では船が大きく揺れ、防波堤の効果を身にしみて感じる事ができた。」  
などといった感想や、港湾または土木の仕事に関する質問がありました。

今回の総合学習会を機に、青森港に親しみを持つとともに、「みなと」を作る仕事に興味を持って頂けたらと思います。